



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 唐木一平 幹事 唐木 章 会報委員長 大石ひとみ 第2901回例会 2020.6.25 No.1561



2019-20年度 RI テーマ

Rotary Connects The World

ソング 我等の生業**ビジター・ゲスト紹介**

上伊那グループガバナー補佐 久保田治秀様

上伊那グループ次期ガバナー補佐 山田 益様

ガバナー補佐ご挨拶 久保田治秀 ガバナー補佐

ガバナー補佐事前訪問でこちらにお伺いしたのは昨年の8月26日。上伊那グループの中でも重鎮のクラブであり、また、本年度は60周年の節目に当たり、緊張して訪問したことが思い出される。当クラブは財団や米山奨学会への寄付をはじめ、親水凧揚げ大会など多彩な奉仕活動に取り組んでおられ敬意を表す。また、この度は次期ガバナー補佐候補をご推薦いただき感謝申し上げます。すんなり決まったことを大変有難いと思っている。今後は山田ガバナー補佐を後方から支援していきたい。

**次期ガバナー補佐紹介** 久保田治秀 ガバナー補佐

山田益さんのご紹介。1942年11月7日生、職業分類タービン、勤務先株TBM 代表取締役、ロータリー歴2006-07年度クラブ副会長、2012-14年度 地区会員増強委員会委員、MPHF3回、第1回米山功労者

次期ガバナー補佐ご挨拶 山田益次期ガバナー補佐

松下電器産業三代目社長の山下さんは、26人中25番目の序列から「山下跳び」で社長になったことで有名だが、山下社長が松下幸之助さんに向かって「選んだ方にも責任がある」と言い放ったと聞く。例年であれば6月に終わっている引継ぎも十分でない中、7月7日の駒ヶ根RC事前訪問など日程が迫ってきている。8月27日は伊那クラブの事前訪問、9月には成田ガバナーの公式訪問が予定されている。その後も地区大会(10月3~4日)などの予定が決まっている。皆様のご協力をお願いしたい。



また、成田新ガバナーの方針で、「月信」で、各グループで自慢の人物を紹介することになった。皆様にお諮りする時間がなかったので、上伊那グループからは伊沢修二氏を推挙したのでご了解願いたい。

幹事報告

1. 台北国際大会のご案内が参りました。(メール配信済み。内容は①台北国際大会よくある質問と回答 ②オンライン登録マニュアル ③登録及びチケット申し込み書式記入サンプル ④登録及びチケット申し込み書式)
2. 地区事務所より、ロータリー章典(2020年4月版)が参りました。(メール配信済み。)
3. 地区事務所より、「地区補助金説明会」のご案内が参りました。オンラインにて開催
日時：2020年7月19日(日)13:30~

【7月のプログラム】

- 2日(木) 初例会・新任式・総会(行事予定発表)
※13:35 クラブ協議会(年度始め)
- 9日(木) 委員会事業計画発表(伊那中央RC 会長・幹事来訪) ※例会後、会長・幹事挨拶回り
- 16日(木) 会員卓話(中曽根隆文会員)(辰野RC、箕輪RC 会長・幹事来訪)
※13:35 旧理事会(決算)
- 23日(木) 休会(法定休日)
- 30日(木) 決算報告 ※13:35 理事会

☆お知らせ

- ・入会希望者のご紹介
八十二銀行伊那支店長 堀内厚志様
- ・第61年度第1期分会費55,000円、ゴルフ部年会費12,000円及びロータリー財団寄付金2,500円(年間1万円寄付、分割支払いの方)を7月10日銀行口座より引き落とさせていただきます。
- ・第61年度クラブ計画書作成のため、住所等変更のある方は6月30日までに事務局までご連絡をお願い

致します。

- ・7月2日(木)初例会後、クラブ協議会(年度始め)を開催いたします。次期役員・委員長の方はお出席をお願い致します。

出席報告 会員数 54名 内出席免除 16名
出席者 38名 事前ミーティング 0名 出席率 79.17%

ニコニコボックス

唐木一平 皆様のご大きな支えを頂いて本日を迎える事が出来ました。大変有難うございました。

本郷一博 伊那中央病院にサーモセンサーをご寄付頂きありがとうございます。今後第2波、第3波に向けて機能を発揮して頂けると思います。早速活用させていただきます。

本日卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

大石ひとみ 1年間ありがとうございました新しい拠点が出来ました。また見学においでください。

ゴルフ部年間成績上位入賞者 中川博司、串原弘樹、小林孝行

第60期役員・理事退任 唐木一平・藤澤洋二・唐木 章・小松献臣・山田益・本田敏和・大石ひとみ・都築 透・小林旬子・平出吉範・山崎秀亮

会員卓話 本郷一博会員

演題 - 「新型コロナウイルス感染症に対する伊那中央病院での取り組み」 -

今回、コロナ禍についての卓話をするようにとの事、機会をいただき感謝します。また、伊那中央病院にサーモセンサーをご寄付頂き感謝しています。ありがとうございます。今後大変活躍してくれるものと思います。



本日の卓話では、新型コロナウイルス感染症に対して伊那中央病院が行ってきた対応、現状、今後への対応を中心にお話をさせていただきます。

当院は感染症指定医療機関の指定を受けている。長野県内に11医療機関。上伊那二次医療圏では当院のみ。感染症法に基づき、知事が指定する医療機関。厚生労働省の基準で、感染症病床のみの専用の病室、病室内または病室に隣接したトイレおよびシャワー室が設置されている。

感染症病床4。陰圧の病室。

さて、新型コロナウイルス感染症は、2019年

12月18日に武漢市で新型コロナウイルス感染初めて報告。11月22日に症例確認。1月16日に国内初の陽性患者(武漢への渡航歴あり)。2月3日ダイヤモンド・プリンセス号横浜港に寄港。陽性患者複数名。

当院の対応のスタート:2月中旬クルーズ船からの患者の要請長野県内にも、県から保健所を通じて受入可否の打診あり。当院も受入準備行う。病床のゾーニング、防護具など。担当スタッフも割り当てて。最終的には当院への陽性患者受入の要請はなかった。

4月上旬、上伊那第一例目の陽性患者入院:4月初旬(5日)(伊那保健所管内一例目)首都圏との移動が関係。呼吸器内科の医師が中心に治療に当たる。その後、8名陽性患者、受入。最後の陽性患者入院は、4月下旬、5月以降新規陽性患者はなし。5月下旬に最後の方、退院。2回の陰性を確認して退院。

病棟は、一単位を陽性患者、疑似患者用にゾーニング。救急外来、救急病棟も:救急患者は疑似としての対応。PCR検査の結果陰性となるまで感染対応。山梨大学の小児の心肺停止で入院した患者に対しても疑似症扱いで、防護具を装着して対応した。

国の指導で、発熱(37.5度以上が4日続く)、咳、倦怠感などの症状を持つ人は保健所に連絡、とのこと。4月に入り、保健所への問い合わせ多く、帰国者・接触者外来で対応。PCR検体を採取。相談人数が多くなり、保健所と協議、事前外来を設置。スクリーニングでPCR検査へ。4月21日より。保健所、上伊那医師会とも連携して。現在まで、130名ほどの患者さん。ここでの陽性患者はなし。

病院が感染源となつてはまずい、病院の機能を停止せざるを得なくなる。外来停止、救急停止など。いくつかの病院ではこのような院内感染の事例が報告された。

院内感染防止に努める。感染の院内への持ち込み防止策:職員はマスク着用。体温測定。37.5度以上、感冒用症状あれば、検診(ドック)は中止していた(5月中旬より再開)。面会はまだ原則禁止(上伊那圏内の他の病院と協議し足並みをそろえての対応)

発熱トリアージ:入館されるすべての方に体温測定、問診。4月13日より。看護スタッフ、事務

職員 4~5 人が 7 時 15 分から夕方 6 時まで、終日業務を行っている。ここに、サーモセンサーを導入することができ、省力化が図れる。今後、第 2 波に備えて、予防対策は引き続き行っていく必要がある。ご寄付いただき、大変ありがたい。活用させていただきます。

医療スタッフの院内感染防止策：ゾーニング、手洗い、アルコール消毒。防護具：マスク（サージカルマスク、N95 マスク）、キャップ、ゴーグルあるいはフェイスシールド、個人防護服（PPE, personal protective equipment）、シューカバー、手袋。

日々の生活で行う感染予防対策：新型コロナウイルスは、飛沫感染、接触感染といわれている。空気感染はしない。マスク、十分な手洗い。顔に指を持って行かない。三密を避ける。握手をしない。グータッチ、エアタッチ、などと。

現在、いわゆる第一波はほぼ収束、東京都などで、また新規感染者は報告されているが。国の緊急事態宣言も解除となり、6 月 19 日からは首都圏を含めての県をまたいでの移動制限が全面解除になった。

当院でも通常の診療体制（検査、手術、検診など）に戻している。徐々に外来、入院患者数も戻りつつあり。ただ、第二波への対応は必須、重要。

今後の対応としては、引き続き感染病床の確保をしつつ、マスク着用、面会禁止、発熱トリアージ、保健所との事前外来、接触者外来にて PCR 検査を行っていく。

この間、伊那ロータリークラブの皆様他、多くの企業、個人の方々から、マスク、フェイスシールドなどの提供、お菓子などの寄付（職員への激励として）、心遣いに職員一同、大変心強い思いをした。

この間、職員の中には、自宅に高齢者がいるため自宅に帰る事を避け、近くにアパートを借りて出勤していた者もいた。

次期予算発表

藤澤会長エレクトより、現・次期合同理事会において予算が承認された報告があり、荒木康雄次期会計より第 61 期予算が発表された。



会長挨拶 唐木一平会長

会員の皆様、役員理事の方々、1 年間大変ご苦勞様でした。

本年は 60 周年という大きな節目を迎え通常の活動の他に記念事業の活動をもして頂きました。本日最終例会にあたり、次期の予算も承認され来期に向けスムーズなスタートが切れます事を皆で喜びたいと思います。



未熟な私がこのお役をお受けしました時から反省の毎日でしたが無事に本日を迎えられることは、ここにお越しいただきました久保田治秀ガバナー補佐、山田益次期ガバナー補佐の御指導と会員の皆様の奉仕と寛容な心、素晴らしい理事会のメンバーのお陰と感謝申し上げます。

また、新年度からは伊那食品工業様のご理解とご協力を頂き、この広い会場をお借りし、食事の提供もして頂けることになりました。大変ありがとうございました。感謝申し上げます。

早く新型コロナウイルスが終息し、新年度のロータリー活動が藤澤洋二会長の下、活発に行われますよう祈念申し上げて今年度の役員・理事の退任挨拶と致します。ありがとうございました。

役員・理事退任

